

英語 I

担当教員 宮平 勝行

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 経済・環境・企シ・産情（月木5）

【授業のねらい】

英語のリスニングとスピーキング力の向上を図ることによってコミュニケーション能力を高めるのがこのクラスの教育目標です。大学生にとって馴染みのある日常的な題材からグローバルな科学的トピックまで、様々な話題をもとに英語の会話やナレーションを聴き、自ら批判的に考え、英語で表現する訓練を繰り返します。こうした活動を継続することによって、大学生としての教養と英語力を高めます。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション	17	4. Unusual Destination, Day 4
2	1. Same and Different, Day 1	18	中間テスト
3	1. Same and Different, Day 2	19	5. Our Changing World, Day 1
4	1. Same and Different, Day 3	20	5. Our Changing World, Day 2
5	1. Same and Different, Day 4	21	5. Our Changing World, Day 3
6	2. Taking Risks, Day 1	22	6. Facing Challenges, Day 1
7	2. Taking Risks, Day 2	23	6. Facing Challenges, Day 2
8	2. Taking Risks, Day 3	24	6. Facing Challenges, Day 3
9	2. Taking Risks, Day 4	25	7. Lost and Found, Day 1
10	3. Enjoy the Ride, Day 1	26	7. Lost and Found, Day 2
11	3. Enjoy the Ride, Day 2	27	7. Lost and Found, Day 3
12	3. Enjoy the Ride, Day 3	28	8. A New View, Day 1
13	3. Enjoy the Ride, Day 4	29	8. A New View, Day 2
14	4. Unusual Destination, Day 1	30	8. A New View, Day 3
15	4. Unusual Destination, Day 2	31	期末テスト
16	4. Unusual Destination, Day 3		

【履修上の注意事項】

学期中、1/3（10回）以上授業を欠席した場合は、自動的に不可の成績となります。正当な理由がなく講義を欠席した場合は、1回ごとに総合点（100点）から2点ずつ減点します。3回の遅刻は1回の欠席とみなすので注意しましょう。やむを得ぬ理由で授業に出席できない学生は、事前に電話もしくは電子メールで申し出てください。事前の申し出がない限り追試などはいりません。また、事前の申し出がなく、予定された日に試験やクイズを受けられない場合、得点は0点となります。

【評価方法】

クイズ（20%）、中間テスト（30%）、期末テスト（30%）、スピーキング・テスト（10%）、受講態度及び授業への貢献度（10%）で評価します。

【テキスト】

Fettig, Cindy & Kathy Najafi. (2013). Pathways Foundations: Listening, Speaking, and Critical Thinking. Heinle-Cengage ELT.

【参考文献】

教員が用意するハンドアウト教材。英和辞書、和英辞書、英英辞書（電子辞書を含む）。

英語 I

担当教員 山里 晃平

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考 経済(水土1)

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

英語Iでは英語の実用性の習得・向上を目指すために基盤となる「聞く」「話す」「読む」「書く」の4つを学ぶ。実用性の習得・向上をするためには英語を実際に使うことが必要であり、普段の授業とラボ教室の授業では上記4つの基礎を学ぶ。文法や語彙などで分からないことは答えを見つけていく。普段の授業やラボ教室での参加型学習に加え、日常的に英語が使われる場面や機会を探してグループ・ペアで発表をする。自分の英語の実用性を発見し、英語を不断に使い続ける意義や楽しさを知ること、実用性の習得・向上の一環とする。

【授業の展開計画】

Week 1 - Week 7: Chapter 1 - Chapter 3 (小テスト)

Week 8: 中間テスト

Week 9 - Week 15: Chapter 4 - Chapter 6 (レポート提出、グループ・ペア発表)

Week 16: 期末テスト

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1		17	
2		18	
3		19	
4		20	
5		21	
6		22	
7		23	
8		24	
9		25	
10		26	
11		27	
12		28	
13		29	
14		30	
15		31	
16			

【履修上の注意事項】

出席回数は評価対象になる。3回の遅刻は一回の欠席と数える。辞書は持参可。気構えすることなく授業に参加することを目指してほしい。

【評価方法】

中間・期末テストは教材を基に実施するが適宜配布をするハンドアウトからも小テスト行う。レポートはグループ・ペアを組み、英語が日常生活で使われている場面や機会に関するテーマを見つけて一人ひとりが書く。グループ・ペア発表をする時はそれぞれのレポートをグループ・ペアでまとめて発表する。
中間・期末テスト・小テスト60点、グループ・ペア発表20点、課題レポート20点

【テキスト】

1. Viva! San Francisco (1998) by Hiroto Ohyagi and Timothy Kiggell (McMillan Language House)
2. 指定する教科書
3. ハンドアウト

【参考文献】

必要に応じて課題やテストを必要としない資料を紹介する。

英語 I

担当教員 一仲宗根 朋美

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2~4年次対象 法・地行（月木5）

【授業のねらい】

CALL教室で、コンピュータソフトウェア教材Viva! San Francisco を用いて基本的なリスニングとスピーキング能力の養成を図ると同時に、別途指定された教科書を学習していく中で、リスニングの補強及び基礎的な文法力をつけていくことを目標とする。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Viva! San Francisco Chapter 1~5	17	Viva! San Francisco Chapter 6~10
2	Viva! San Francisco Chapter 1~5	18	Viva! San Francisco Chapter 6~10
3	Viva! San Francisco Chapter 1~5	19	Viva! San Francisco Chapter 6~10
4	Viva! San Francisco Chapter 1~5	20	Viva! San Francisco Chapter 6~10
5	Viva! San Francisco Chapter 1~5	21	Viva! San Francisco Chapter 6~10
6	Viva! San Francisco Chapter 1~5	22	Viva! San Francisco Chapter 6~10
7	Viva! San Francisco Chapter 1~5	23	Viva! San Francisco Chapter 6~10
8	Viva! San Francisco Chapter 1~5	24	Viva! San Francisco Chapter 6~10
9	Viva! San Francisco Chapter 1~5	25	Viva! San Francisco Chapter 6~10
10	Viva! San Francisco Chapter 1~5	26	Viva! San Francisco Chapter 6~10
11	Viva! San Francisco Chapter 1~5	27	Viva! San Francisco Chapter 6~10
12	Viva! San Francisco Chapter 1~5	28	Viva! San Francisco Chapter 6~10
13	Viva! San Francisco Chapter 1~5	29	Viva! San Francisco Chapter 6~10
14	Viva! San Francisco Chapter 1~5	30	Viva! San Francisco Chapter 6~10
15	Viva! San Francisco Chapter 1~5	31	期末テスト
16	中間テスト		

【履修上の注意事項】

教科書は、必ず購入して、辞書を授業に持ってくる（電子辞書可）。
30分以上遅刻した場合は、欠課とみなし、遅刻3回で1回の欠課とする。
10回以上欠課した場合は、単位を与えない。

【評価方法】

中間テスト、期末テストの結果に授業参加・貢献度を加味し、総合評価を決める。

【テキスト】

1. Viva! San Francisco (MACMILLAM LANGUAGEHOUSE) ラボ室ソフト教材のため、購入の必要はない。
2. Forerunner to Power-Up English (南雲堂) 受講者全員、必ず購入すること。

【参考文献】

特にないが、必要な際には、授業で適宜紹介する。

英語 I

担当教員 真喜志 満

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地行(水土1)

【授業のねらい】

普通教室での授業の日は、「つぶやき英語トレーニング(七田 真監修)」の手法を用いて、日常頻繁に使われる基礎的な英語表現を、考えなくても自然に口をついて出てくるようになるまで演習を行い、翌週に小テストで記憶の確認を行う。CALL教室での授業の日は、ITを活用して、既存の教材“Viva! San Francisco”と洋楽を導入、活用して、ヒアリングとスピーキングの技能を高めるよう演習し、さらにITによる小テストで習得の確認を行う。英語が苦手な人でも、言語障害をも克服できると言われる「音楽療法」を取り入れることで、少しでも英語を無理なく楽しく学べ、同時に異文化への関心も高めてもらうのがこのコースの狙いである。

【授業の展開計画】

週1回は、普通教室で「つぶやき英語トレーニング」のテキストを使って、各場面の英語表現を暗記する作業を中心に行う。まず、英語を聞いて、和訳で状況のイメージをつかみ、その後英語表現の理解と習得に努め、音読、ディクテーションなどを行っていき、最終的に暗記できるまで演習を行う。そしてその結果、どれだけ暗記できたかを確認する小テストを翌週に実施する。前期は、Scene4, 6, 7, 10, 13, 14, 17, 18, 20, 22, 27, 30, 35, 36を順に学習していく。

また、別の日の週1回は、“VIVA SANFRANCISCO”をChapter1から順にCALL教室のシステムを活用して演習していくが、授業では全文の解釈や注釈にとどめ、具体的な練習問題とその解答の確認やその他の練習は、各自宿題として自主学習するものとする。またCALL教室では、専用サーバーに用意した洋楽教材を活用して、詩の解釈や注釈を行い、各アーティストが歌う音楽を鑑賞する。ただその際、音楽を聴いて楽しむだけではなく、詩を暗記する努力や、ヒアリングを向上させる努力、また発音やイントネーションの矯正など必要な学習や演習を忘れてはならない。また、洋楽についても、翌週どこまで習得・記憶できたかを試す小テストをシステムを使って行う。さらに時々、歌い易い洋楽については、一緒に口ずさんで練習し、グループで歌の練習の成果を発表させることもある。

【履修上の注意事項】

公休日や休校、その他特別な事情で、同じ曜日が連続する場合があるので、講義内容や小テストの日程などを間違えないよう準備すること。欠席する学生は、できる限り事前に所定の欠席届を提出すること。急な病欠などは仕方がないので、翌週までに医療機関にかかったことを証明する書面をコピーして欠席届に添付して提出すること。それ以外は、「病欠」とは認められない。「公欠」についても、必ず顧問の教官から出された書面を添付して提出すること。出欠は授業開始と同時に取るので、遅刻をしないよう心がけること。

【評価方法】

出席10%、小テスト(つぶやき英語)30%、小テスト(洋楽)40%、宿題(Viva SFの自主学習)20%、その他+/-5%。なお、「その他」とは授業態度や授業への貢献度などが総合的に加味される評価である。

【テキスト】

出版社の都合で、テキストが手に入りにくい場合、毎回教材プリントを配布する。

【参考文献】

英和・和英・英英辞典、英文法書、あるいは電子辞書やインターネット上の文献・ホームページなど

英語 I

担当教員 長嶺 広美

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地行（水土1）、経済（水土2）

【授業のねらい】

ListeningとSpeakingを中心に総合的な英語学習を通じて、コミュニケーション能力を高めることを目標とする。

【授業の展開計画】

第1週： Introduction to the class
第2～7週： Viva! San Francisco Chap 1～5
第8週： 中間テスト
第9～15週： Viva! San Francisco Chap 6～10
第16週： 期末テスト

【履修上の注意事項】

週2回のクラスの1回をCall 教室でViva! San Francisco を利用し、1回を普通教室で指定テキストを使用してListeningとSpeakingに焦点を置いて授業を進める。また、基本的な英文法も学ぶ。プレゼンテーション等学生主体のクラスとしていくので、積極的なクラス参加を望む。3分の1以上の欠席者は単位を認めない。また、遅刻3回で1回の欠席とみなす。

【評価方法】

授業貢献度 10% クイズ 20%
プレゼンテーション 20% 中間・期末試験 50%

【テキスト】

Viva! San Francisco（購入の必要はありません）
未定（初回の講義時に指定します）

【参考文献】

辞書は必ず持参すること

英語 I

担当教員 富里 明美

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 対象：地域環境（水土2） 日文（水4土3）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語 I

担当教員 一ツヨウソ ターハート

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 英米 (火金1)

【授業のねらい】

This class is designed to help students improve the four skills of reading, writing, listening and speaking, with a focus on listening and speaking. The class will include a variety of pair and group activities to develop conversational skills.

【授業の展開計画】

English I will cover the first half of the text, Marathon Mouth. In addition, other materials will be used to expand on and reinforce what is covered in the text.

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Self-introductions	17	Unit 5
2	Wh-questions	18	Unit 6
3	Unit 1	19	Unit 6
4	Unit 2	20	Unit 6
5	Unit 2	21	Unit 6
6	Describing people	22	Unit 7
7	Unit 2	23	Unit 7
8	Unit 3	24	Group activity
9	Unit 3	25	Health and sickness
10	Unit 4	26	Health and sickness
11	Unit 4	27	Health and sickness
12	Jobs	28	Interview
13	Jobs	29	Interview
14	Jobs	30	Final exam
15	Unit 5	31	Listening test
16	Unit 5		

【履修上の注意事項】

【評価方法】

The final grade will be based on: final exam / listening test / quizzes (50%), interview test (20%), homework (10%), attendance / participation (10%) and presentation (10%).

【テキスト】

Marathon Mouth (Intercom Press) will be used, as well as supplementary materials that will be provided by the instructor.

【参考文献】

英語 I

担当教員 -奥間 隆伸

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

英語のspeaking, listening, reading, writing に関する基礎的な運用能力の養成及び向上を目指す。そのため週2回の授業の中、1回はCALL教室において英語I指定教科書：Viva! San Franciscoを使い日常の英会話習得とアメリカ文化に対する理解を深める。あとの1回は普通教室において別の教科書やプリントを使って、基礎的なリスニング・スピーキング力の向上を目指します。授業では個人、ペアワーク、グループワークを通じて積極的に英語に触れ、使っていく。

【授業の展開計画】

CALL教室においては、コンピューター化された教材：Viva! San Francisco を使用し英語の基礎的な4技能（リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング）の習得と向上を目指す。その際、個人、ペアワーク、クラス全体での活動を行ないます。通常教室においては、別の教科書やプリントを使って基礎的なリスニングやスピーキング力の向上を目指し、英語の運用能力を高めていく。そのため、受講者は積極的に授業に参加することが求められます。レッスン毎に単語や重要表現に関するテストをおこなう。

第1週： 講義の概要説明、英語による自己紹介

第2週～第7週： 各課の学習

第8週： 中間試験

第9週～第15週： 各課の学習

第16週： 期末試験

【履修上の注意事項】

1. 積極的に授業に参加してください。特にCALL教室では、自主的、意欲的な学習態度が必要です。
2. 総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。
3. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。
4. 教室では携帯電話の電源を切ること。
5. 遅刻、私語、居眠り、携帯電話の使用等は授業進行の妨げになるので厳に慎んでください。

【評価方法】

出席点25%、平常点30%（宿題・小テスト・レポート・授業への参加度）、中間試験20%、期末試験25%の結果により総合的に評価する。

総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。
また遅刻3回で欠席1回とみなします。

【テキスト】

1. Viva! San Francisco, Hiroto Ohyagi & Timothy Kiggell (Macmillan) 2000円(税別)
2. 講師指定の教科書（オリエンテーション時に説明します）

【参考文献】

必要に応じて授業で配布します。

英語 I

担当教員 赤嶺 ゆかり

対象学年 2年

単位区分 選択

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科（月木5）

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語 I

担当教員 松田 順子

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考 1年次対象 産情（火金2）

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語 I

担当教員 山川 満夫

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 法律（水土1）、企シ（火金2）、社文・人福（火金1）

【授業のねらい】

スピーキング力とリスニング力の育成を中心に、英語の基礎力アップを目指します。Warm-Up活動等では中学・高校での既習事項を振り返りながら、ペアやグループ学習を取り入れインターアクティブ（双方向）な授業展開をします。積極的な発言が望まれます。週1回はCALL教室を使用し、聞き取りを中心に音読や実践的な口語表現を練習し、英会話力アップを目指します。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション	17	Viva! San Francisco Ch.7他
2	英語の基礎力養成1	18	英語の基礎力養成8
3	Viva! San Francisco Ch.1	19	Viva! San Francisco Ch.8他
4	英語の基礎力養成2	20	スピーチテスト準備
5	Viva! San Francisco Ch.2他	21	Viva! San Francisco Ch.9他
6	英語の基礎力養成3	22	スピーチテスト
7	Viva! San Francisco Ch.3他	23	Viva! San Francisco Ch.10他
8	英語の基礎力養成4	24	英語の基礎力養成9
9	Viva! San Francisco Ch.4他	25	Viva! San Francisco Ch.11他
10	英語の基礎力養成5	26	英語の基礎力養成10
11	Viva! San Francisco Ch.5他	27	インタビューテスト
12	英語の基礎力養成6	28	英語の基礎力養成11
13	Viva! Ch.1～5総まとめ（テスト）	29	Viva! San Franciscoの総まとめ
14	英語の基礎力養成7	30	英語の基礎力養成12
15	Viva! San Francisco Ch.6他	31	英語の基礎力養成8～12（期末点検）
16	英語の基礎力養成1～7（中間点検）		

【履修上の注意事項】

(1) 中間・期末テストの他に、スピーチテスト・インタビューテストを実施します。(2) 遅刻・早退は2回につき1回の欠席とみなします。また、総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価が「不可」となります。(3) 毎回、英和辞典を授業に持参することが望ましいです。(4) レポート課題が出される際には、確実に提出して下さい。(5) 大学指定のクラスへの登録となりますので注意してください。本クラスに指定されていない学生はWeb登録しても、実際の登録は認められません。

【評価方法】

①出席状況や授業態度、②スピーチテスト、③インタビューテスト、④中間・期末テスト、⑤提出課題、の結果を総合的に判断して評価する。

【テキスト】

1. Viva! San Francisco（ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし）
2. 講師指定の教科書（オリエンテーション時に連絡する。）

【参考文献】

英語 I

担当教員 西原 幹子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）

【授業のねらい】

週二回の授業のうち、一回はCALL教室、あとの一回は一般教室にて行います。CALL教室では、Viva! San Francisco の教材をもとにリスニングおよびスピーキングの練習をし、日常会話表現を学んでいきます。一方、教室授業では、英文作成のための基礎的な文法事項を確認し、その知識の定着をはかります。

【授業の展開計画】

<一般教室>

- 1 週目：登録確認、講義説明
- 2 週目：self-introduction
- 3 週～15 週目：英文法の基礎を一項目ずつ確認していく。
 - ・動詞の活用を中心に、単文作成の練習
 - ・知識の定着をはかるために豆テストを定期的に行う

<CALL教室>

- 1 週目：CALLの操作方法について
- 2 週目：ペアレッスンを中心に、self-introduction の表現練習
- 3 週目～15 週目：Viva! San Francisco の教材に沿って、毎週 1 レッスンずつ進む。
 - ・リスニングの練習とペアレッスンによる会話練習
 - ・日常会話に役立つ表現を学ぶ

7 週目：中間試験

16 週目：学期末試験

【履修上の注意事項】

- ・辞書を各自持参してください
- ・ノートを一冊用意してください

【評価方法】

学期末試験の結果により評価します

【テキスト】

プリント教材を配布します

【参考文献】

授業のなかで適宜紹介します

英語 I

担当教員 大城 明子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地行(水土1) 産情(火金2)

【授業のねらい】

大学生として必須の英語力（語彙、文法）を身につけながら、リスニングとスピーキングの基礎力を養成する。週一回のラボ室では、全学教材のViva!San Franciscoの学習や様々なメディア教材を用いて、異文化理解を深めつつ実践的な聴解力の向上をめざし、もう一方の普通教室では上記の語彙や文法を中心の学習を行いながら、その履修内容を発話（スピーキング）につなげ基本的なコミュニケーション力を培う。

【授業の展開計画】

（以下Viva!はテキストViva! San Franciscoをさす。週一回はCALL教室での授業となる）英語基礎力とは、授業のねらいに記したところの大学生として必須の英語力である語彙、文法のことである。学習内容の定着を確実にするため、小テストおよび定期的なテストを行う。また、学期末に、本クラスでの学習の集大成としてスピーキングテストを行う。（なお、以下の各回の学習内容は、進捗度や使用教室により変更およびずれ等があるので注意すること）

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション	17	ラボ室学習 Viva!7回目、他
2	英語自己紹介 他	18	英語基礎力養成1-6中間点検
3	ラボ室利用オリエンテーション Viva!Ch1	19	ラボ室学習 Viva!8回目、他
4	英語のしくみ（概要） 他	20	英語基礎力養成7
5	ラボ室学習 Viva!1回目、他	21	ラボ室学習 Viva!9回目、他
6	英語基礎力養成1	22	英語基礎力養成8
7	ラボ室学習 Viva!2回目、他	23	ラボ室学習 Viva!10回目、他
8	英語基礎力養成2	24	英語基礎力養成9
9	ラボ室学習 Viva!3回目、他	25	Viva! 全体学習定着点検（テストも含む）
10	英語基礎力養成3	26	英語基礎力養成10
11	ラボ室学習 Viva!4回目、他	27	スピーキングテスト関連1
12	英語基礎力養成4	28	英語基礎力養成11
13	ラボ室学習 Viva!5回目、他	29	スピーキングテスト関連2
14	英語基礎力養成5	30	英語基礎力養成7-11期末点検 他
15	ラボ室学習 Viva!6回目、他	31	総点検：スピーキングと英語基礎力養成
16	英語基礎力養成6		

【履修上の注意事項】

○受講に際しては英和と和英辞典（電子辞書）を必携のこと（抜き打ち辞典チェックをします） ○語学は能動的に学習しなければ力はつきませんので、クラスでも能動的および積極的に参加してください。 ○週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する ○英語 Iでは学生は大学指定のクラスへの登録となりますので注意してください。本クラスに指定されていない学生はWeb登録が行えても、実際は登録は認められません。

【評価方法】

授業への参加、試験、Speech、発表、出席、遅刻、態度などを総合的に評価する。

【テキスト】

1Viva!San Francisco大八木廣人他マクミランゲージハウス(ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし) 2講師指定の教科書(オリエンテーション時に説明するテキストを大学書店で必ず購入すること) 3講師作成配布のStudy Guide

【参考文献】

英語 I

担当教員 野口 正樹

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次 対象 英米 (火金1)

【授業のねらい】

本講義は、初日の orientation を除き、各種活動(dictation, one-minute speech, definition game, listening comprehension, essay writing 等)を主軸に行います。先ず、1文毎の英文を1度聴取し、聞いた通りの英語を書き取ります。続いて、曜日や週毎に設定された課題を通して、oral skills の向上を目指します。

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

- ① 受講予定者は、講義初日の orientation に必ず参加し、内容・方法を理解することが履修の前提です。
- ② 無断遅刻・欠席・退出は一切認められません。正当な事由がある場合は、事前に必ず mail 連絡下さい。
- ③ 課題は毎時期限までに完成させます。
- ④ 携帯電話の電源は切っておきましょう。また、textbook 及び辞書、筆記用具は必須です。
- ⑤ 講義内での私語及び居眠り・他者への迷惑行為等は問題外になります。

【評価方法】

- ① 授業出席度 (原則皆勤)
- ② dictation/speech/listening comprehension/essay writing
- ③ 英語の理解と使用
- ④ 質疑応答
- ⑤ 課題テストおよび中間・期末試験
- ⑥ 受講姿勢

【テキスト】

別途連絡します。

【参考文献】

別途連絡します。

英語 I

担当教員 新垣 實

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語 I

担当教員 島村 麗

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考 地環（水土2）

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語 I

担当教員 -中根 佳

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）、企シ（火金2）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語 I

担当教員 糸数 淳子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）

【授業のねらい】

総合的な英語力（読む・聴く・書く・話す）のスキルのうち、特にリスニング力とスピーキング力とを伸ばす訓練を行います。聞き取った言葉を瞬時に理解しすぐに反応する練習をペアやグループで行い英語での円滑なコミュニケーションを目指します。又、簡単な読み物の音読、多様なリスニング教材のシャドーイング練習（聞き取った音声をすぐに声にだす）を通し聞き取り易い標準的な英語の発音やイントネーションを意識すると共に、異なる英語のアクセントにも慣れる事を目標とします。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション & Skill Check	17	L&SP 6
2	Viva! San Francisco Ch.1 (VSF 1)	18	VSF 7
3	Listening & Speaking Practice 1 (L&SP1)	19	L&DP 7
4	VSF 2	20	VSF 8
5	L&SP 2	21	L&S P8
6	VSF 3	22	VSF 9
7	L&SP 1-2 Test	23	L&SP6-8 Test
8	VSF 1-3まとめ	24	VSF7-9 まとめ
9	L&SP 3	25	L&SP Review 1
10	VSF 4	26	VSF 10
11	L&SP 4	27	L&SP Review 2
12	VSF 5	28	VSF 発表
13	L&SP 5	29	L&SP 期末まとめ
14	VSF 6	30	期末テスト
15	L&SP Test 3-5	31	テスト結果及び評価発表
16	VSF4-6まとめ		

【履修上の注意事項】

*期末テスト以外に、3回の小テスト、毎回の授業の際にクイズを実施します。

*毎回、英和辞典を授業に持参して下さい。

【評価方法】

火曜日Speaking & Listening Practiceのクラスは3回のテスト、期末テスト、課題提出状況、を中心に評価する。又、クラスのアクティビティー（ペアワーク・グループワーク）の際の貢献度、学習態度、出席率等も評価の対象となります。金曜日ラボはスキットを台本なしに発表してもらいそのパフォーマンスを評価します。授業の度に行われるディクテーションクイズも評価の対象となります（講義を休んだ場合は次の回にまとめて発表する）

【テキスト】

1. Viva! San Francisco (ラボ室ソフト教材のため購入の必要はありません)
2. Interchange Level 2 Student's Book with Self-study DVD-ROM. 4th ed. (購入必要)

ISBN:978-1107648692 (

【参考文献】

授業の中で紹介します。

英語 I

担当教員 長嶺 博

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 産情（火金2）、日文（水4土3）

【授業のねらい】

このクラスではリスニングとスピーキングに重点が置かれる。特にリスニングに関し、副教材（プリント教材）の使用では、英語独特の音のつながりに伴うその変化を学習し、ロールプレイ等でその発音練習等を行う。テキスト DISCOVERING JAPAN through TOURISM ENGLISH の使用では、リスニングによる教材の内容理解確認、単語力向上を図る内容や英作文等が加わる。小テスト（クイズ）を5回と、期末試験として、幅教材の会話部分を基にした会話テストを行う予定。尚、週一回は CALL 教室を使用する。

【授業の展開計画】

- | | | | |
|----------------------|----------|----------------------|----------|
| 1 クラス概要説明等 | | 17 DISCOVERING JAPAN | Lesson 7 |
| 2 DISCOVERING JAPAN | Lesson 1 | 18 副教材（プリント教材 7） | |
| 3 副教材（プリント教材 1） | | 19 DISCOVERING JAPAN | Lesson 8 |
| 4 DISCOVERING JAPAN | Lesson 2 | 20 副教材（プリント教材 8） | |
| 5 副教材（プリント教材 2） | | 21 Quiz IV | |
| 6 Quiz I | | 22 At the Movies | |
| 7 DISCOVERING JAPAN | Lesson 3 | 23 Field of Dreams | |
| 8 副教材（プリント教材 3） | | 24 DISCOVERING JAPAN | Lesson 9 |
| 9 DISCOVERING JAPAN | Lesson 4 | 25 副教材（プリント教材 9） | |
| 10 副教材（プリント教材 4） | | 26 副教材（プリント教材 10） | |
| 11 Quiz II | | 27 副教材（プリント教材 11） | |
| 12 DISCOVERING JAPAN | Lesson 5 | 28 Quiz V | |
| 13 副教材（プリント教材 5） | | 29 会話テスト(クラス1/2) | |
| 14 DISCOVERING JAPAN | Lesson 6 | 30 会話テスト(クラス1/2) | |
| 15 副教材（プリント教材 6） | | 31 課題提出・追試等 | |
| 16 Quiz III | | | |

【履修上の注意事項】

【評価方法】

成績は小テスト（クイズ）及び会話テスト等の試験と出席状況、及びクラス活動の参加度等を基に総合的に評価する。

【テキスト】

DISCOVERING JAPAN through TOURISM ENGLISH 「観光英語で日本発見！」（英宝社）

【参考文献】

英語 I

担当教員 芦峰 隆章

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 経済(水土2)

【授業のねらい】

この授業では、「読む」、「書く」、「聴く」、「話す」、の英語の四技能を全てバランス良く伸ばすことを目指す。比較的短い英文を多読、速読できるようにする。会話文を英語で書いて口頭で発表しその内容について英語で質疑応答できるようにする。CALL教室ではテキストのリスニングやE-Learning, DVDや英語の歌等の多様な教材を使って、語彙も増やしながらかき取る技能を向上させる。四技能全てが相互的に機能していることを絶えず意識させながら授業を進めていく。

【授業の展開計画】

*学生の理解度を深めるためにテキストの各ユニットが必ずしもページの若い順に進まないことがあるし、ユニットも前後する場合もある。

**テストの期日が予定とは若干ずれる可能性もある。

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション
2	テキストUnit 1
3	テキストUnit 1
4	テキストUnit 2
5	テキストUnit 3
6	テキストUnit 3
7	テキストUnit 4
8	中間試験
9	テキストUnit 5
10	テキストUnit 5
11	テキストUnit 6
12	テキストUnit 7
13	テキストUnit 7
14	テキストUnit 8
15	英会話テスト
16	期末試験

【履修上の注意事項】

毎回辞書を持参すること。(電子辞書でもよい。)

【評価方法】

中間・期末試験 : 70%
英会話テスト : 20%
授業への参加度 : 10%

【テキスト】

openMind Student's Book 1
(MACMILLAN LANGUAGEHOUSE, 2010)

【参考文献】

特にないが必要時には紹介する。

英語 I

担当教員 小橋川 里美

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考 1年次対象 法律（水土1）

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語 I

担当教員 新城 知子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 法律（水土1） 地環（水土2）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語 I

担当教員 糸数 デビット

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 企シ（火金2）、英米（火金1）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語 I

担当教員 芦峰 隆章

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 日文(水4土3)

【授業のねらい】

この授業では、「読む」、「書く」、「聴く」、「話す」、の英語の四技能を全てバランス良く伸ばすことを目指す。観光ガイドに必要な日本文化や風物に関する英会話を聴いて練習して、各グループで独自の英会話文を作って発表し英語での質疑応答ができるようにする。テキストの語彙、和文英作、観光に関する練習問題などもこなして技能の向上をはかる。CALL教室ではテキストのリスニングやE-Learning, DVDや英語の歌等の多様な教材を使って、楽しみながら英語が聴き取れるようになることを目指す。

【授業の展開計画】

*学生の理解度を深めるためにテキストの各ユニットが必ずしもページの若い順に進まないことがあるし、ユニットも前後する場合もある。

**テストの期日が予定とは若干ずれる可能性もある。

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション
2	テキストLesson 1
3	テキストLesson 2-3
4	テキストLesson 4-5
5	テキストLesson 6-7
6	テキストLesson 8
7	テキストLesson 9
8	中間試験
9	テキストLesson 10
10	テキストLesson 11-12
11	テキストLesson 13-14
12	テキストLesson 15-16
13	テキストLesson 17
14	テキストLesson 18
15	英会話テスト (ディベート/ディスカッション)
16	期末試験

【履修上の注意事項】

毎回辞書を持参すること。(電子辞書でもよい)

【評価方法】

中間・期末試験 : 70%
 英会話テスト : 20%
 授業への参加度 : 10%

【テキスト】

Tourism English (「観光英語で日本案内」)
 (英宝社、2007)

【参考文献】

特にないが必要時には紹介する。

英語Ⅱ

担当教員 新垣 實

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 西原 幹子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）

【授業のねらい】

週二回の授業のうち、一回はCALL教室、あとの一回は一般教室にて行います。CALL教室では、Viva! San Francisco の教材をもとにリスニングおよびスピーキングの練習をし、日常会話表現を学んでいきます。一方、教室授業では、英文作成のための基礎的な文法事項を確認し、その知識の定着をはかります。

【授業の展開計画】

<一般教室>

- 1 週目：登録確認、講義説明
- 2 週目：前期に学んだ事項の再確認
- 3 週～15 週目：前期に引き続き、英文法の基礎を一項目ずつ確認していく。
 - ・「～だから」「～とき」などの英文作成の練習
 - ・知識の定着をはかるために豆テストを定期的に行う

<CALL教室>

- 1 週目：発音練習①
- 2 週目：発音練習②
- 3 週目～15 週目：前期に引き続き、Viva! San Francisco の教材に沿って、毎週 1 レッスンずつ進む。
 - ・リスニングの練習とペアレッスンによる会話練習
 - ・日常会話に役立つ表現を学ぶ

7 週目：中間試験

16 週目：学期末試験

【履修上の注意事項】

- ・原則として、「英語Ⅰ」と同じ担当者のクラスに登録してください。
- ・辞書を各自持参してください
- ・ノートを一冊用意してください

【評価方法】

学期末試験の結果により評価します

【テキスト】

プリント教材を配布します

【参考文献】

授業のなかで適宜紹介します

英語Ⅱ

担当教員 大城 明子

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考 1年次対象 地行(水土1)産情(火金2)

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

英語Ⅰの発展を前提に、大学レベルの英語力の養成と基本的な発信型コミュニケーション力の習得を目指す。週一回のラボ室では、全学教材のViva!SanFranciscoのCh11-20をCALLソフトを用いて学習し、他のメディア教材との併用で、多種多様な英語のインプットをはかる。また普通教室では、英語Ⅰで用いた教材を引き続き用いて基礎英語力を向上させて、それを生かして、英語で自ら表現し伝えて意思疎通の図れる力をみにつける。

【授業の展開計画】

(以下Viva!はテキストViva! San Franciscoをさす。週1回はCALL教室での授業となる) 英語基礎力とは、英語Ⅰと同様の大学レベルの英語力(語彙、文法面)の習得とともに、その周辺の力を学習することである。16週目には、スピーキングテストがあることに注意すること。学習内容の定着を目的とした定期的なテストを実施する。(なお、以下の各回の学習内容は進捗度や使用教室により変更およびずれ等があるので注意すること)

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	英語Ⅱオリエンテーション	17	ラボ室学習Viva!7回目 他
2	英語Ⅰ履修内容の総復習、他	18	英語基礎力養成18 他
3	ラボ室学習Viva!1回目 他	19	ラボ室学習Viva!8回目 他
4	英語基礎力養成12 他	20	英語基礎力養成19 他
5	ラボ室学習Viva!2回目 他	21	ラボ室学習Viva!9回目 他
6	英語基礎力養成13 他	22	英語基礎力養成20 他
7	ラボ室学習Viva!3回目 他	23	ラボ室学習Viva!10回目 他
8	英語基礎力養成14 他	24	英語基礎力養成21 他
9	ラボ室学習Viva!4回目 他	25	Viva!期末点検(テストを含む)
10	英語基礎力養成15 他	26	英語基礎力養成22 他
11	ラボ室学習Viva!5回目 他	27	スピーキングテスト準備
12	英語基礎力養成16 他	28	英語基礎力養成18-22点検(テストを含む)
13	Viva! 中間点検 他	29	スピーキングテスト関連
14	英語基礎力養成17 他	30	スピーキングテスト関連
15	ラボ室学習Viva!6回目 他	31	スピーキングテスト関連
16	英語基礎力養成12-17点検(テストを含む)		

【履修上の注意事項】

○英語Ⅱは原則として英語Ⅰと同じクラスに登録することに注意してください。英語Ⅰ(担当大城)の同曜日同時限に登録し

ていなかった学生が英語ⅡでWeb登録を行っても本英語Ⅱクラスでの登録認めません。○受講に際しては、高校レベル以上の英和と和英辞典は必携です(電子辞書は可) ○語学は能動的に学習してこそ力がつくものです。よってクラスでも能動のおよび積極的に参加してください。○週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する。

【評価方法】

授業への参加、試験、Speech、発表、出席、遅刻、態度などを総合的に評価する。

【テキスト】

1. Viva! San Francisco大八木廣人他マクランゲンゲージハウス(購入必要なし) 2. 英語Ⅰで用いた教科書 3. 講師作成配布のStudy Guide

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 松田 順子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 産情（火金2）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 芦峰 隆章

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 日文(水4土3)

【授業のねらい】

この授業では、「読む」、「書く」、「聴く」、「話す」、の英語の四技能を全てバランス良く伸ばすことを目指す。観光ガイドに必要な日本文化や風物に関する英会話を聴いて練習して、各グループで独自の英会話文を作って発表し英語での質疑応答ができるようにする。テキストの語彙、和文英作、観光に関する練習問題などもこなして技能の向上をはかる。CALL教室ではテキストのリスニングやE-Learning, DVDや英語の歌等の多様な教材を使って、楽しみながら英語が聴き取れるようになることを目指す。

【授業の展開計画】

*学生の理解度を深めるためにテキストの各ユニットが必ずしもページの若い順に進まないことがあるし、ユニットも前後する場合もある。

**テストの期日が予定とは若干ずれる可能性もある。

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション
2	テキストUnit 1
3	テキストUnit 1
4	テキストUnit 2-3
5	テキストUnit 4-5
6	テキストUnit 6
7	テキストUnit 7
8	中間試験
9	テキストLesson 8
10	テキストLesson 9-10
11	テキストLesson 11-12
12	テキストLesson 13
13	テキストLesson 14
14	テキストLesson 15
15	英会話テスト(ディベート/ディスカッション)
16	期末試験

【履修上の注意事項】

毎回辞書を持参すること。(電子辞書でもよい)

【評価方法】

中間・期末試験 : 70%
 英会話テスト : 20%
 授業への参加度 : 10%

【テキスト】

DISCOVERING JAPAN through TOURISM ENGLISH 「観光英語で日本発見！」(英宝社、2010)

【参考文献】

特にないが必要時には紹介する。

英語Ⅱ

担当教員 糸数 ジュニョール テビット

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 企シ（火金2）、英米（火金1）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 長嶺 博

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 産情（火金2）、日文（水4土3）

【授業のねらい】

このクラスではリスニングとスピーキングに重点が置かれる。特にリスニングに関し、副教材（プリント教材）の使用では、英語独特の音のつながりに伴うその変化を学習し、ロールプレイ等でその発音練習等を行う。テキスト DISCOVERING JAPAN through TOURISM ENGLISH の使用では、リスニングによる教材の内容理解確認、単語力向上を図る内容や英作文等が加わる。小テスト（クイズ）を5回と、期末試験として幅教材の会話部分を基にした会話テストを行う予定。尚、週一回は CALL 教室を使用する。

【授業の展開計画】

- | | | |
|--------------------------------|----------------------|-----------|
| 1 クラス概要説明等 | 17 DISCOVERING JAPAN | Lesson 16 |
| 2 DISCOVERING JAPAN Lesson 10 | 18 副教材（プリント教材 18） | |
| 3 副教材（プリント教材 12） | 19 DISCOVERING JAPAN | Lesson 17 |
| 4 DISCOVERING JAPAN Lesson 11 | 20 副教材（プリント教材 19） | |
| 5 副教材（プリント教材 13） | 21 Quiz IV | |
| 6 Quiz I | 22 ABCDJ | |
| 7 DISCOVERING JAPAN Lesson 12 | 23 Stand By Me | |
| 8 副教材（プリント教材 14） | 24 DISCOVERING JAPAN | Lesson 18 |
| 9 DISCOVERING JAPAN Lesson 13 | 25 副教材（プリント教材 20） | |
| 10 副教材（プリント教材 15） | 26 副教材（プリント教材 21） | |
| 11 Quiz II | 27 副教材（プリント教材 22） | |
| 12 DISCOVERING JAPAN Lesson 14 | 28 Quiz V | |
| 13 副教材（プリント教材 16） | 29 会話テスト(クラス1/2) | |
| 14 DISCOVERING JAPAN Lesson 15 | 30 会話テスト(クラス1/2) | |
| 15 副教材（プリント教材 17） | 31 課題提出・追試等 | |
| 16 Quiz III | | |

【履修上の注意事項】

【評価方法】

成績は小テスト（クイズ）及び会話テスト等の試験と出席状況、及びクラス活動の参加度等を基に総合的に評価する。

【テキスト】

DISCOVERING JAPAN through TOURISM ENGLISH 「観光英語で日本発見！」（英宝社）

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 -奥間 隆伸

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）

【授業のねらい】

英語Iに引き続き、英語のspeaking, listening, reading, writing に関する基礎的な運用能力の養成及び向上を目指す。そのため週2回の授業の中、1回はCALL教室において英語I・II指定教科書：Viva! San Franciscoを使い日常の英会話習得とアメリカ文化に対する理解を深める。あとの1回は普通教室において別の教科書やプリントを使って、基礎的なリスニング・スピーキング力の向上を目指します。授業では個人、ペアワーク、グループワークを通じて積極的に英語に触れ、使っていく。

【授業の展開計画】

CALL教室においては、コンピューター化された教材：Viva! San Francisco を使用し英語の基礎的な4技能（リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング）の習得と向上を目指す。テキストはPart2の部分：Chapter11-20を学習していく。その際、個人、ペアワーク、クラス全体での活動を行ないます。通常教室においては、教科書（英語Iで使用したもの）やプリントを使って基礎的なリスニング・スピーキング力の向上に努める。そのため、受講者は積極的に授業に参加することが求められます。レッスン毎に単語や重要表現に関するテストをおこなう。

第1週： 講義の概要説明介

第2週～第7週： 各課の学習

第8週： 中間試験

第9週～第15週： 各課の学習

第16週： 期末試験

【履修上の注意事項】

1. 積極的に授業に参加してください。特にCALL教室では、自主的、意欲的な学習態度が必要です。
2. 総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。
3. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。
4. 教室では携帯電話の電源を切ること。
5. 遅刻、居眠り、私語、携帯電話の使用などは授業進行の妨げになるので厳に慎んでください。

【評価方法】

出席点25%、平常点30%（宿題・小テスト・レポート・授業への参加度）、中間試験20%、期末試験25%の結果により総合的に評価する。

総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。
また遅刻3回で欠席1回とみなします。

【テキスト】

- ① Viva! San Francisco Hiroto Ohyagi & Timothy Kiggell MACMILLAN LANGUAGEHOUSE 2000円(税別)
- ② 講師指定の教科書(英語Iで購入したものを使用します)

【参考文献】

必要に応じて授業で配布します。

英語Ⅱ

担当教員 宮平 勝行

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次 経済・環境・企シ・産情（月木5）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 中根 佳

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）、企シ（火金2）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 糸数 淳子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 赤嶺 ゆかり

対象学年 2年

単位区分 選択

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科（月木5）

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 長嶺 広美

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地行（水土1）、経済（水土2）

【授業のねらい】

英語Ⅰに引き続き、ListeningとSpeakingを中心に総合的な英語学習を通じて、コミュニケーション能力を高めることを目標とする。

【授業の展開計画】

第1週 : Introduction to the class

第2～7週 : Viva! San Francisco Chap 11～15

第8週 : 中間テスト

第9～15週 : Viva! San Francisco Chap 16～20

第16週 : 期末テスト

【履修上の注意事項】

週2回のクラスの1回をCall 教室でViva! San Francisco を使用し、もう1回は普通教室でサブ・テキスト（未定）を使用してListeningとSpeakingに焦点を置いて授業を進める。プレゼンテーション等学生主体のクラスとしていくので、積極的なクラス参加を望む。3分の1以上の欠席者は単位を認めない。また、遅刻3回で1回の欠席とみなす。

【評価方法】

授業貢献度 10% クイズ 30%
プレゼンテーション 20% 中間・期末試験 40%

【テキスト】

Viva! San Francisco（購入の必要はありません）サブ・テキスト（未定・教室にて指定します）
辞書は必ず携帯すること。

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 -富里 明美

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地環（水土2）日文（水4土3）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 山里 晃平

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考 経済（水土2）

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

英語IIでは英語の実用性の習得・向上を目指すために基盤となる「聞く」「話す」「読む」「書く」の4つを学ぶ。普段の授業とラボ教室の授業では英語Iより踏み込んで上記4つを学ぶ。文法や語彙などで分からないことは答えを見つけていく。普段の授業やラボ教室での参加型学習に加え、英語I同様、日常生活で英語が使われる場面や機会を探してグループ・ペアで発表をする。自分の英語の実用性を発見し、英語を不断に使い続ける意義や楽しさを知ること、実用性の習得・向上の一環とする。英語IIでは英語Iの応用を図る。

【授業の展開計画】

Week 1 - Week 7: Chapter 11 - Chapter 16 (小テスト)
 Week 8: 中間テスト
 Week 9 - Week 15: Chapter 17 - Chapter 20 (レポート提出、グループ・ペア発表)
 Week 16: 期末テスト

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1		17	
2		18	
3		19	
4		20	
5		21	
6		22	
7		23	
8		24	
9		25	
10		26	
11		27	
12		28	
13		29	
14		30	
15		31	
16			

【履修上の注意事項】

出席回数は評価対象になる。3回の遅刻は一回の欠席と数える。辞書は持参可。気構えすることなく授業に授業参加することを目指すこと。

【評価方法】

中間・期末テストは指定の教材を基に実施するが、適宜配布をするハンドアウトからも小テスト行う。レポートはグループ・ペアを組み、英語が日常生活で使われている場面や機会に関するテーマを見つけて一人ひとりが書く。グループ・ペア発表をする時はそれぞれのレポートをグループ・ペアでまとめて発表する。英語Iからの応用は評価のポイントになる。

中間・期末テスト・小テスト60点、グループ・ペア発表20点、課題レポート20点

【テキスト】

1. Viva! San Francisco (1998) by Hiroto Ohyagi and Timothy Kiggell (McMillan Language House)
2. 指定する教科書
3. ハンドアウト

【参考文献】

必要に応じて課題やテストを必要としない資料を紹介する。

英語Ⅱ

担当教員 一ツヨウソ ターバート

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 英米 (火金1)

【授業のねらい】

This class is designed to help students improve the four skills of reading, writing, listening and speaking, with a focus on listening and speaking. The class will include a variety of pair and group activities to develop conversational skills.

【授業の展開計画】

English II will cover the second half of the text, Marathon Mouth. In addition, other materials will be used to expand on and reinforce what is covered in the text.

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Summer vacation activity	17	Unit 13
2	Unit 8	18	Unit 13
3	Unit 8	19	Unit 13
4	Common mistakes	20	Unit 14
5	Unit 9	21	Unit 14
6	Unit 9	22	Unit 14
7	Unit 10	23	Christmas activity
8	Unit 10	24	New Year's resolutions
9	Unit 10	25	Pair interview for speech
10	Unit 10	26	Review
11	Unit 11	27	Speech
12	Unit 11	28	Speech
13	Unit 12	29	Interview
14	Unit 12	30	Final exam
15	How often	31	Listening test
16	Wh-questions		

【履修上の注意事項】

【評価方法】

The final grade will be based on: final exam / listening test / quizzes (50%), interview test (20%), homework (10%), attendance / participation (10%) and presentation (10%).

【テキスト】

Marathon Mouth (Intercom Press) will be used, as well as supplementary materials that will be provided by the instructor.

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 真喜志 満

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地行(水土1)

【授業のねらい】

英語Ⅰに比べて、全体的に文章が少し長くなる。前期同様、普通教室での授業は、「つぶやき英語トレーニング(七田 真監修)」の手法を用いて、基礎的な英語表現を、考えなくても自然に口をついて出てくるようになるまで演習を行い、翌週に小テストで確認を行う。CALL教室での授業は、ITを活用して、既存の教材“Viva! San Francisco”と洋楽を導入、活用して、ヒアリングとスピーキングの技能を高めるよう演習し、さらにITによる小テストで習得の確認を行う。英語が苦手な人でも、「音楽療法」を取り入れることで、少しでも英語を無理なく楽しく学べ、同時に異文化への関心も高めてもらうのがコースの狙いである。学期末には実力テストも行う。

【授業の展開計画】

前期同様週1回は、普通教室で「つぶやき英語トレーニング」のテキストを使って、各場面の英語表現を暗記する作業を中心に行う。まず、英語を聞いて、和訳で状況のイメージをつかみ、その後英語表現の理解と習得に努め、音読、ディクテーションなどを行っていき、最終的に暗記できるまで演習を行う。そしてその結果、どれだけ暗記できたかを確認する小テストを翌週に実施する。Scene1, 9, 16, , 23, 24, 26, 29, 32, 37, 43, 44, 47を順に学習していく。

別の日の週1回は、“VIVA SANFRANCISCO”をChapter11から順にCALL教室のシステムを活用して演習していくが、授業では全文の解釈や注釈にとどめ、具体的な練習問題とその解答の確認やその他の練習は、各自宿題として自主学習するものとする。またCALL教室では、専用サーバーに用意した洋楽教材を活用して、詩の解釈や注釈を行い、各アーティストが歌う音楽を鑑賞する。ただその際、音楽を聴いて楽しむだけではなく、詩を暗記する努力や、ヒアリングを向上させる努力、また発音やイントネーションの矯正など必要な学習や演習を忘れてはならない。また、洋楽についても、翌週どこまで習得・記憶できたかを試す小テストをシステムを使って行う。また、歌いやすい洋楽については、一緒に口ずさんで練習し、グループで歌の練習の成果を発表させることもある。

学期末には、実力テストを実施する。これにより入学時にプレテストにより計測した英語力が一年後にどれだけ伸びたかを計測し、一番伸びた学生の改善点を100として各学生の改善点を評価する。間違っても実力の差がマイナスとなつては、大学で英語を1年間学んだ意味がなくなるので、普段から自分なりに英語を習得し、実力を上げていく努力が望まれる。

【履修上の注意事項】

公休日や休校、その他特別な事情で、同じ曜日が連続する場合があるので、講義内容や小テストの日程などを間違えないよう準備すること。欠席する学生は、できる限り事前に所定の欠席届を提出すること。急な病欠などは仕方がないので、翌週までに医療機関にかかったことを証明する書面をコピーして欠席届に添付して提出すること。それ以外は、「病欠」とは認められない。「公欠」についても、必ず顧問の教官から出された書面を添付して提出すること。出欠は授業開始と同時に取るので、遅刻をしないよう心がけること。

【評価方法】

出席10%、小テスト(つぶやき英語)25%、小テスト(洋楽)35%、宿題(Viva SFの自主学習)20%、実力テスト10%、その他+/-5%。なお、「その他」とは授業態度や授業への貢献度などが総合的に加味される評価である。

【テキスト】

プリント教材を毎回配布する。

【参考文献】

英和・和英・英英辞典、英文法書、あるいは電子辞書やインターネット上の文献・ホームページなど

英語Ⅱ

担当教員 島村 麗

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考 地域環境（水土2）

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 一仲宗根 朋美

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（月木5）

【授業のねらい】

英語Ⅰ同様、CALL教室で、コンピュータソフトウェア教材Viva! San Francisco を用いて基本的なリスニングとスピーキング能力の養成を図ると同時に、別途指定された教科書を学習していく中で、リスニングの補強及び基礎的な文法力をつけていくことを目標とする。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Viva! San Francisco Chapter 11～15	17	Viva! San Francisco Chapter 16～20
2	Viva! San Francisco Chapter 11～15	18	Viva! San Francisco Chapter 16～20
3	Viva! San Francisco Chapter 11～15	19	Viva! San Francisco Chapter 16～20
4	Viva! San Francisco Chapter 11～15	20	Viva! San Francisco Chapter 16～20
5	Viva! San Francisco Chapter 11～15	21	Viva! San Francisco Chapter 16～20
6	Viva! San Francisco Chapter 11～15	22	Viva! San Francisco Chapter 16～20
7	Viva! San Francisco Chapter 11～15	23	Viva! San Francisco Chapter 16～20
8	Viva! San Francisco Chapter 11～15	24	Viva! San Francisco Chapter 16～20
9	Viva! San Francisco Chapter 11～15	25	Viva! San Francisco Chapter 16～20
10	Viva! San Francisco Chapter 11～15	26	Viva! San Francisco Chapter 16～20
11	Viva! San Francisco Chapter 11～15	27	Viva! San Francisco Chapter 16～20
12	Viva! San Francisco Chapter 11～15	28	Viva! San Francisco Chapter 16～20
13	Viva! San Francisco Chapter 11～15	29	Viva! San Francisco Chapter 16～20
14	Viva! San Francisco Chapter 11～15	30	Viva! San Francisco Chapter 16～20
15	Viva! San Francisco Chapter 11～15	31	期末テスト
16	中間テスト		

【履修上の注意事項】

教科書は、必ず購入して、辞書を授業に持ってくる（電子辞書可）。
30分以上遅刻した場合は、欠課とみなし、遅刻3回で1回の欠課とする。
10回以上欠課した場合は、単位を与えない。

【評価方法】

中間テスト、期末テストの結果に授業参加・貢献度を加味し、総合評価を決定する。

【テキスト】

1. Viva! San Francisco (MACMILLAM LANGUAGEHOUSE) ラボ室ソフト教材のため、購入の必要はない。
2. Forerunner to Powr-Up English (南雲堂) 受講者全員、必ず購入すること。

【参考文献】

特にないが、必要な際には、授業で適宜紹介する。

英語Ⅱ

担当教員 新城 知子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 法律（水土1）、地環（水土2）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 小橋川 里美

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考 1年次対象 法律（水土1）

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 芦峰 隆章

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 経済(水土2)

【授業のねらい】

この授業では、「読む」、「書く」、「聴く」、「話す」、の英語の四技能を全てバランス良く伸ばすことを目指す。比較的短い英文を多読、速読できるようにする。会話文を英語で書いて口頭で発表しその内容について英語で質疑応答できるようにする。CALL教室ではテキストのリスニングやE-Learning, DVDや英語の歌等の多様な教材を使って、語彙も増やしながらかき取る技能を向上させる。四技能全てが相互的に機能していることを絶えず意識させながら授業を進めていく。

【授業の展開計画】

*学生の理解度を深めるためにテキストの各ユニットが必ずしもページの若い順に進まないことがあるし、ユニットも前後する場合もある。

**テストの期日が予定とは若干ずれる可能性もある。

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション
2	テキストUnit 9
3	テキストUnit 9
4	テキストUnit 10
5	テキストUnit 11
6	テキストUnit 12
7	テキストUnit 12
8	中間試験
9	テキストopenMind 2
10	テキストopenMind 2
11	テキストopenMind 2
12	テキストopenMind 2
13	テキストopenMind 2
14	テキストopenMind 2
15	英会話テスト(ディベート/ディスカッション)
16	期末試験

【履修上の注意事項】

毎回辞書を持参すること。(電子辞書でもよい)

【評価方法】

中間・期末試験 : 70%
英会話テスト : 20%
授業への参加度 : 10%

【テキスト】

openMind Student's Book 1
(MACMILLAN LANGUAGEHOUSE, 2010)

【参考文献】

特にないが必要時には紹介する。

英語Ⅱ

担当教員 山川 満夫

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 法律（水土1）、企シ（火金2）、社文・人福（火金1）

【授業のねらい】

英語Ⅰの発展として、さらにスピーキング力とリスニング力の育成を中心に、総合的な英語力のレベルアップを図り、英語による自己表現活動の育成に力を入れます。週1回のCALL教室では、英語Ⅰに引き続き全学教材のViva! San FranciscoのCh. 11～20を学習し、英会話力アップを目指します。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	英語Ⅱオリエンテーション	17	Viva! San Francisco Ch.17他
2	英語Ⅰの総復習	18	英語の基礎力養成20
3	Viva! San Francisco Ch. 11	19	Viva! San Francisco Ch. 18他
4	英語の基礎力養成14	20	スピーチテスト準備
5	Viva! San Francisco Ch. 12他	21	Viva! San Francisco Ch. 19他
6	英語の基礎力養成15	22	スピーチテスト
7	Viva! San Francisco Ch. 13他	23	Viva! San Francisco Ch. 20他
8	英語の基礎力養成16	24	英語の基礎力養成21
9	Viva! San Francisco Ch. 14他	25	Viva! Ch. 16～20総まとめ
10	英語の基礎力養成17	26	英語の基礎力養成22
11	Viva! San Francisco Ch. 15他	27	インタビューテスト準備
12	英語の基礎力養成18	28	英語の基礎力養成23
13	Viva! Ch. 11～15総まとめ	29	インタビューテスト
14	英語の基礎力養成19	30	英語の基礎20～23総復習
15	Viva! San Francisco Ch. 16他	31	英語の基礎力養成20～25（期末点検）
16	英語の基礎力養成14～19（中間点検）		

【履修上の注意事項】

(1) 中間・期末テストの他に、スピーチテスト・インタビューテストを実施します。(2) 遅刻・早退は2回につき1回の欠席とみなします。また、総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価が「不可」となります。(3) 毎回、英和辞典を授業に持参することが望ましいです。(4) 課題が出されるときには、確実に提出して下さい。(5) 大学指定のクラスへの登録となりますので注意してください。本クラスに指定されていない学生はWeb登録しても、実際の登録は認められません。

【評価方法】

①出席状況や授業態度、②スピーチテスト、③インタビューテスト、④中間・期末テスト、⑤提出課題、の結果を総合的に判断して評価する。

【テキスト】

1. Viva! San Francisco（ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし）
2. 講師指定の教科書（オリエンテーション時に連絡する。）

【参考文献】

英語Ⅱ

担当教員 野口 正樹

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次 対象 英米 (火金1)

【授業のねらい】

本講義は、warm-up 終了後、課題である暗唱例文の practice を pairで行います。続いて、quick response に移ります。それから、語法・文法に関する質疑応答を英語または日本語で実践します。後半は、group に分かれ、暗唱英文に基づいた skit 作成に取り組みます。homework assignment の活用を奨励します。その後 group 毎に英語による acting out を行います。

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

- ① 受講予定者は、講義初日の orientation に必ず参加し、内容・方法を理解することが履修の前提です。
- ② 無断遅刻・欠席・退出は一切認められません。正当な事由がある場合は、事前に必ず mail 連絡下さい。
- ③ 課題 skit は、事前に提出します。
- ④ 携帯電話の電源は切っておきましょう。また、textbook 及び辞書、筆記用具は必須です。
- ⑤ 講義内での私語及び居眠り・他者への迷惑行為等は問題外になります。

【評価方法】

- ① 授業出席度 (原則皆勤)
- ② quick response / debate
- ③ 英語の理解と運用
- ④ 質疑応答
- ⑤ 課題テストおよび中間・期末試験
- ⑥ 受講姿勢

【テキスト】

別途連絡します。

【参考文献】

別途連絡します。

英語Ⅲ

担当教員 糸数 淳子

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次 全学科（火金2）

【授業のねらい】

英文の読解力を養成する事を目的とする。クラスで扱うエッセイや物語を購読する中で、文章の基本構造、テーマ等を意識しつつ、内容を論理的に把握し分析する力を身に着ける。又、プレゼンテーションを通して文章をより深く理解し表現する力を強化する。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション & スキルチェック	17	Review
2	英文購読演習	18	定期テスト
3	The Little Prince Intro (TLP Intro)	19	TLP Ch. 10
4	TLP Ch. 1	20	TLP Ch. 11
5	TLP Ch. 2	21	TLP Ch. 12
6	TLP Ch. 3	22	Review
7	Review	23	定期テスト
8	定期テスト	24	TLP Ch. 13
9	TLP Ch. 4	25	TLP Ch. 14
10	TLP Ch. 5	26	Review
11	TLP Ch. 6	27	期末テスト
12	Review	28	プレゼンテーション
13	定期テスト	29	プレゼンテーション
14	TLP Ch. 7	30	プレゼンテーション
15	TLP Ch. 8	31	最終評価発表
16	TLP Ch. 9		

【履修上の注意事項】

- 1 欠席はやむを得ない場合を除き必ず事前に連絡する事（出席率も評価の対象となりますので注意）
- 2 期末試験以外に、定期試験を4回程予定しています（認められた理由以外の欠席者は再試験受験不可）
- 3 研究ノート仕上げ毎回提出する（期末最終評価のウェイトが大きい課題です）
- 4 定期試験対策として、毎回の授業後に復習時間最低1時間必要です（音読、新単語）
- 5 頻繁な遅刻や、授業態度（私語やいねむり）の悪い生徒は退室をお願いする場合がありますので注意

【評価方法】

1. 定期テスト、期末テストの成績
2. 毎回の授業後提出する研究ノートの評価
3. 出席率、授業への積極的参加
4. 最終プレゼンテーション
5. 授業態度

【テキスト】

初回の授業で発表（星の王子様英語版購読予定）
1週間以内に必ず全員購入する事（1500円以内予定）

【参考文献】

適切なものをハンドアウトの形で配布することがある。

英語Ⅲ

担当教員 渡久山 幸功

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科（火金1）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅲ

担当教員 山城 莉乃

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）、全学科（火金1）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅲ

担当教員 赤嶺 ゆかり

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅲ

担当教員 小橋川 里美

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅲ

担当教員 奥間 隆伸

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

【授業のねらい】

基礎的な英文読解力及び、書く力を総合的に伸ばすことを目指します。そのために英語の文章構成（語句、文など）、や展開法（アイデアの配列）を学びます。その上で必要なreading skills（skimming等）の習得を目指し、実生活や専門科目で応用できることを目標としたい。授業では、個人、ペアワーク、グループワークを通じて積極的に英語に触れ、使っていきたい。

【授業の展開計画】

教科書を使って幅広い話題に関連してリーディングを行い（時には音読やリスニングも）、英語の運用能力を高めていく。そのため、受講者はリーディングに関して単語のチェックなどの予習をすることが求められます。また、講義では様々なタイプの活動（個人、ペアワーク、グループワークなど）を行っていきます。

第1週： 講義の概要説明、英語による自己紹介

第2週～第7週： 各課の学習

第8週： 中間試験

第9週～第15週： 各課の学習

第16週： 期末試験

【履修上の注意事項】

1. 積極的に授業に参加してください。自主的、意欲的な学習態度が必要です。
2. 総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。
3. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。
4. 教室では携帯電話の電源を切ること。
5. 遅刻、私語、居眠り、携帯電話の使用等は授業進行の妨げになるので厳に慎んでください。

【評価方法】

出席点25%、平常点30%（宿題・小テスト・レポート・授業への参加度）、中間試験20%、期末試験25%の結果により総合的に評価する。

総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。また遅刻3回で欠席1回とみなします。

【テキスト】

講師指定の教科書（オリエンテーション時に説明するテキストを大学書店で購入してください）

【参考文献】

必要に応じて授業で配布します。

英語Ⅲ

担当教員 大田 かお里

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅲ

担当教員 宮城 和文

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2・3・4年次対象 全学科(水土2)

【授業のねらい】

英語学習における4技能のバランスのとれた伸長を最終目標に据えながらも、本講座では基礎的な「読み」そして「書き」の演習活動に焦点をあて学習を展開していく。(1)まとまりのある英文を効率的かつ正確に読めるようになるための有効なReading Skillsを身につける。(2)読んだ内容について読後感を短文の英文でつづり、それをクラスで共有する。(3)Vocab-Notebook(単語ノート)を作成し講座期間中、継続的に語彙力増強に努める。

【授業の展開計画】

テキストのユニット演習とあわせて、毎週2編のパラグラフを読み切る。受講生は、指示された箇所をしっかりと予習して講義にのぞむこと。テキストに登場する語彙の定着を図るため、毎週ミニクイズを行う。※受講生の学習状況、学習内容の理解度などを考慮に入れ、下記計画を変更することがある。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Introduction / Vocab-level Check	17	Skimming for a Main Idea 1 / Quiz 08
2	Measuring WPM (1)	18	Skimming for a Main Idea 2
3	Vocabulary Strategy 1 / Quiz 01	19	Skimming for a Main Idea 3/ Quiz 09
4	Vocabulary Strategy 2	20	Review the Units (4)
5	Vocabulary Strategy 3 / Quiz 02	21	Scanning-Product Labels/ Quiz 10
6	Review the Units (1)	22	Scanning-Charts
7	Pre-reading Activities / Quiz 03	23	Scanning-Numbers / Quiz 11
8	Understanding Reference Words 1	24	Review the Units (5)
9	Understanding Reference Words 2/ Quiz 04	25	Connecting Ideas / Quiz 12
10	Understanding Reference Words 3	26	Reading for Pleasure
11	Review the Units (2) / Quiz 05	27	Reading Skill Exercise- / Quiz 13
12	Predicting-Signal Words	28	Reading Skill Exercise-News Articles, etc
13	Predicting-Contrast / Quiz 06	29	Measuring WPM (2) / Quiz 14
14	Predicting-Cause & Effect	30	Course Review
15	Review the Units (3) / Quiz 07	31	Final Exam
16	Mid-Term Exam		

【履修上の注意事項】

1. 「単語ノート」専用に学習ノートを1冊準備してください。
2. 毎回辞書を持参すること。電子辞書でもよいが、辞書機能付き携帯電話等の講義中の使用は認めない。
3. 時数3分の1を超える欠席は、学則により不可。授業進行の妨害になるので以下厳に慎むこと：遅刻、私語、居眠り、チューインガム、理由不明の離席、携帯電話等の使用など。なお、遅刻3回で欠席1とみなす。
4. 開講日オリエンテーションには大切なお知らせが含まれるので、受講生は正当な理由なしに欠席しないこと。

【評価方法】

- 40%: Examinations
 30%: Review Quizzes
 20%: Vocab-Notebook
 10%: In-class Contributions

【テキスト】

Elementary Skills for Reading(リーディングスキルの入門演習), Anderson & Kawamata, 2011, Seibido (成美堂)。朝野書房にて販売しています。全受講生必携。

【参考文献】

講義内で適時紹介

英語Ⅲ

担当教員 一仲宗根 朋美

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

【授業のねらい】

この授業では、アメリカの学生、及びアメリカにいる非英語話者の学生に向けてCNNが企画したニュース番組 CNN Student News の内容を教材にしたテキストを用いる。英語圏に限らず、世界を取り巻く様々な興味深い問題を英語で読んでいく中で、前期は、主に読解力の養成に重点を置きつつ、精読した内容のニュースを視聴することで、英語Ⅰ・Ⅱで培った聴解力を更に高めることも目標とする。

【授業の展開計画】

注：授業の流れによっては、下記スケジュール変更の可能性あり。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	講義概要説明	17	Unit 8
2	Unit 1	18	Unit 8
3	Unit 1	19	Unit 9
4	Unit 2	20	Unit 9
5	Unit 2	21	Unit 10
6	Unit 3	22	Unit 10
7	Unit 3	23	Unit 11
8	Unit 4	24	Unit 11
9	Unit 4	25	Unit 12
10	Unit 5	26	Unit 12
11	Unit 5	27	Unit 13
12	Unit 6	28	Unit 13
13	Unit 6	29	Unit 14
14	Unit 7	30	Unit 14
15	Unit 7	31	期末テスト
16	中間テスト		

【履修上の注意事項】

必ず辞書を、授業に持ってくること（電子辞書可）。

30分以上遅刻した場合は、欠課とみなし、遅刻3回で1回の欠課とする。

10回以上欠課した場合は、単位を与えない。

【評価方法】

中間テスト、期末テストの結果に、授業参加・貢献度を加味し、総合評価を決定する。

【テキスト】

CNN Student News (1) (朝日出版社)

【参考文献】

授業で適宜紹介する。

英語Ⅳ

担当教員 小橋川 里美

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅳ

担当教員 山城 莉乃

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）、全学科（火金1）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅳ

担当教員 渡久山 幸功

対象学年 2年

単位区分 選択

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科（火金1）

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅳ

担当教員 奥間 隆伸

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

【授業のねらい】

英語Ⅲを基礎に、読み、書く能力の一層の強化を図る。その中で特に速読を実践する。速読における第一目標として70～80%の理解度で、130～150wpm (words per minute)の読解速度を目指し、最終的には200 wpm 程度の読解速度の達成に努めたい。そしてこの授業で学習したことを実生活や専門科目で応用できることを目標とした。授業では、個人、ペアワーク、グループワークなどを通じて積極的に英語に触れ、使っていきたい。

【授業の展開計画】

教科書を使って幅広い話題に関連してリーディングを行ない（時には音読やリスニングも）、英語の運用能力を高めていく。そのため、受講者はリーディングに関して単語のチェックなどの予習をすることが求められます。また、講義では様々なタイプの活動（個人、ペアワーク、グループワークなど）を行っていきます。

第1週： 講義の概要説明

第2週～第7週： 各課の学習

第8週： 中間試験

第9週～第15週： 各課の学習

第16週： 期末試験

【履修上の注意事項】

1. 積極的に授業に参加してください。自主的、意欲的な学習態度が必要です。
2. 総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。
3. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。
4. 教室では携帯電話の電源を切ること。
5. 遅刻、私語、居眠り、携帯電話の使用等は授業進行の妨げになるので厳に慎んでください。

【評価方法】

出席点25%、平常点30%（宿題・小テスト・レポート・授業への参加度）、中間試験20%、期末試験25%の結果により総合的に評価する。

総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。
また遅刻3回で欠席1回とみなします。

【テキスト】

講師指定の教科書（オリエンテーション時に説明するテキストを大学書店で購入してください）

【参考文献】

必要に応じて講義で配布します。

英語Ⅳ

担当教員 大田 かお里

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅳ

担当教員 宮城 和文

対象学年 2年

単位区分 選択

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科（水土2）

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

前期「英語Ⅲ」の発展コースとして、比較的長めの英文エッセイにも躊躇することなく対応できるようにReading Skillsのさらなる向上をめざす。くわえて、読んだ内容の概要や読後の感想について、文章にまとめ受講生同士共有しあうことで、扱われている題材の理解深化をめざす。さらに、日々の出来事を英文でつづる“3-line Diary”（仮称：3行日記）を学期を通して課題にし提出することで、英語を「書く」行為に慣れる。

【授業の展開計画】

※前期「英語Ⅲ」における受講生の学習状況および学習内容の理解度・到達度等に応じて、下記計画に変更が生じる場合があります。

- 身近な話題を集めたテキスト（選定中）を使用し、600-700語程度で構成されたエッセイを毎週1～2編読み切る。
- 各章に、数人のUnit Leaders（仮称）を割り当て、演習問題などの責任解答者を務めてもらう。
- エッセイに登場した語彙・表現の定着を図るため、毎週ミニクイズを行う。
- 第2回目の講義から、3-line Diary（仮称：3行日記）の提出を開始し、以降開講期間中毎日提出する。

Week 1: Course introduction / Vocabulary Check

Week 2-6: Units / Review Quizzes

Week 7: Mid-term Examination

Week 8-15: Units / Review Quizzes

Week 16: Final Exam

【履修上の注意事項】

1. 辞書は毎回持参。電子辞書でもよいが、辞書機能付きの携帯電話などは講義中の使用不可。
2. 時数3分の1を超える欠席は、学則により単位認定できません。
3. 以下の行為は授業運営に悪影響を与えるので厳に慎むこと：遅刻、私語、居眠り、チューインガム、途中離席、携帯電話等の使用など。なお遅刻3回で欠席1とみなす。
4. 開講オリエンテーションには大切な告知が含まれるので、正当な理由なしに初回講座を欠席しないこと。

【評価方法】

40%: Examinations

30%: Quizzes

15%: 3-line Diary

15%: Unit Leaders / In-class Contributions

【テキスト】

開講日に告知します。

【参考文献】

適時講義内で紹介します。

英語Ⅳ

担当教員 糸数 淳子

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科（火金2）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅳ

担当教員 赤嶺 ゆかり

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

英語Ⅳ

担当教員 一仲宗根 朋美

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

【授業のねらい】

前期に引き続き、実際にアメリカで報道されたニュースのスク립トを教材化したテキストを用いているが、ニュースの対象が学生に限定されていた前期の内容に比べて、後期は、一般向けのニュースになるため、内容、英語、ともに、難易度が上がる。様々な内容のニュースを読解・視聴していくことで英語の理解力を高め、又、関連する内容を英作文することによって、総合的な英語力を養成することを主な目標とする。

【授業の展開計画】

注：授業の進度は、クラス全体の理解度をみながら決めていくので、若干変更の可能性有り。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Introduction	17	Unit 8
2	Unit 1	18	Unit 8
3	Unit 1	19	Unit 9
4	Unit 2	20	Unit 9
5	Unit 2	21	Unit 10
6	Unit 3	22	Unit 10
7	Unit 3	23	Unit 11
8	Unit 4	24	Unit 11
9	Unit 4	25	Unit 12
10	Unit 5	26	Unit 12
11	Unit 5	27	Unit 13
12	Unit 6	28	Unit 13
13	Unit 6	29	Unit 14
14	Unit 7	30	Unit 14
15	Unit 7	31	Final Examination
16	Mid-term Examination		

【履修上の注意事項】

必ず予習をして、辞書を授業に持ってくること（電子辞書可）。
30分以上遅刻した場合は、欠課とみなし、遅刻3回で1回の欠課とする。
10回以上欠課した場合は、単位を与えない。

【評価方法】

中間テスト、期末テストに加えて授業参加・貢献度を加味し、総合評価を決める。

【テキスト】

ABC World News 14（金星堂）

【参考文献】

適宜、授業中に紹介する。

英語 V

担当教員 大城 明子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1～4年次対象 全学科（水2金1）

【授業のねらい】

英検2級レベルの英語力を養成し、英語の統合的な実力をつけることを目的とする。

【授業の展開計画】

6月の英検試験をめぐり、テキストをすすめていくので注意してください。また、テキストは受講生が割り振られた担当箇所は責任をもって答えと考え方など説明することになります。語彙豆テストは、大量で確実な語彙定着を養うため、20回にわけて行うものです。また、英語リーディング力の練習もできる限り行うとともに、英語スピーキングの機会も随所にとり入れ、英語総合力を養うことにします。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	クラス概要説明、テキスト紹介 他	17	語彙豆テスト13 英検2級対策テキスト、
2	英検2級について、英検2級テキスト	18	語彙豆テスト14 英検2級対策テキスト、
3	ミニ英検2級模擬試験（実力判断）	19	語彙豆テスト15 英検2級対策テキスト、
4	語彙豆テスト1 英検2級対策テキスト	20	語彙豆テスト16 英検2級対策テキスト、
5	語彙豆テスト2 英検2級対策テキスト、	21	語彙豆テスト17 英検2級対策テキスト、
6	語彙豆テスト3 英検2級対策テキスト、	22	語彙豆テスト18 英検2級対策テキスト、
7	語彙豆テスト4 英検2級対策テキスト、	23	語彙豆テスト19 英検2級対策テキスト、
8	語彙豆テスト5 英検2級対策テキスト、	24	語彙豆テスト20 英検2級対策テキスト、
9	語彙豆テスト6 英検2級対策テキスト、	25	期末総点検（テストを含む）
10	語彙豆テスト7 英検2級対策テキスト、	26	Reading Passage、listening演習1 他
11	語彙豆テスト8 英検2級対策テキスト、	27	Reading Passage、listening演習1 他
12	語彙豆テスト9 英検2級対策テキスト、	28	Reading Passage、listening演習1 他
13	語彙豆テスト10 英検2級対策テキスト、	29	英検2級対策テキスト等 補充
14	中間総点検（テストを含む）	30	模擬一次試験（筆記）、16週目はリスニング
15	語彙豆テスト11 英検2級対策テキスト、	31	
16	語彙豆テスト12 英検2級対策テキスト、		

【履修上の注意事項】

○講義内で英和・和英辞書で調べる機会があるので、必携です。○積極的な参加はボランティアポイントとして成績評価点で反映されます。○就職活動による講義欠席についての優遇措置はとりません。（就活の講義欠席は課題提出により5回までは欠席減点は行わないが、課題申請は本人がじかに申し出てください。詳しいことはオリエンテーションで説明します。）

【評価方法】

定期テスト、語彙豆テスト、発表、ボランティアポイント、減点（遅刻、欠席、内職、睡眠、態度不良等）すべてを合計した上で評価します。

【テキスト】

講義概要説明時にテキストは紹介し、購入を求めます。

【参考文献】

英語Ⅵ

担当教員 津波 聡

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1～4年次対象 全学科（火木3）

【授業のねらい】

ペアドリルやスピーチを通して英検準1級レベルの英語力を目指します。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Orientation	17	Listening & Reading 13
2	Listening & Reading 1	18	Listening & Reading 14
3	Listening & Reading 2	19	Listening & Reading 15
4	Listening & Reading 3	20	Listening & Reading 16
5	Listening & Reading 4	21	Vocabulary & Speaking 3
6	Vocabulary & Speaking 1	22	Listening & Reading 17
7	Listening & Reading 5	23	Listening & Reading 18
8	Listening & Reading 6	24	Listening & Reading 19
9	Listening & Reading 7	25	Listening & Reading 20
10	Listening & Reading 8	26	Vocabulary & Speaking 4
11	Vocabulary & Speaking 2	27	Listening & Reading 21
12	Listening & Reading 9	28	Listening & Reading 22
13	Listening & Reading 10	29	Listening & Reading 23
14	Listening & Reading 11	30	Listening & Reading 24
15	Listening & Reading 12	31	Proficiency Test
16	Vocabulary & Speaking 3		

【履修上の注意事項】

- (1) 講義はできるだけ英語を使用します（学生も英語を積極的に使うことが望まれます）
- (2) 指定された席に座る
- (3) 無断欠席、遅刻をしない *遅刻 2回で欠席 1回とみなします
- (4) 辞書持参（できるだけ電子辞書）

【評価方法】

授業態度、出席状況、クイズ、学習記録（ポートフォリオ）を総合的に評価する

【テキスト】

授業の中で連絡します。

【参考文献】

授業の中で連絡します

英語Ⅶ

担当教員 クレグ K ジェイコブソン

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1～4年次 全学科（月木4）

【授業のねらい】

This course is primarily designed to assist students in preparing to take the TOEIC exam.

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Course Registration and Introduction
2	General Introduction to TOEIC and other proficiency exams
3	TOEIC Listening Skills
4	TOEIC Listening Skills
5	First Mock Exam
6	TOEIC Vocabulary Skills
7	TOEIC Vocabulary Skills
8	Second Mock Exam
9	TOEIC Reading Skills
10	TOEIC Reading Skills
11	TOEIC Listening Skills
12	Third Mock Exam
13	TOEIC Grammar Skills
14	TOEIC Grammar Skills
15	Final TOEIC Exam
16	Course Feedback and Discussion

【履修上の注意事項】

Students should note that this class will be taught primarily in English.

【評価方法】

Students will be evaluated based on their attendance and how much they improve their TOEIC scores over the course of the semester.

【テキスト】

To be announced.

【参考文献】

Students are encouraged to purchase their own TOEIC study materials, especially in areas where they need to improve their skills.

英語Ⅷ

担当教員 里 麻奈美

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1～4年次対象 全学科（月木5）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】